

実施計画事業名		食育推進事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		教育部 教育総務課		課長(主幹)名	藤島 峰幸			
総合計画体系	分野	0	地域経営(自治)					
	政策	1	持続可能な地域社会づくり					
	施策	3	「食」のあり方を見つめ直します					
	関連施策							
現状と課題	社会経済情勢の変化や生活様式の多様化などにより、食の大切さに対する意識が希薄になり、健全な食生活が失われつつある。脂質の過剰摂取や野菜の摂取不足、朝食の欠食に代表されるような栄養の偏りや食習慣の乱れなどが見受けられ、肥満や生活習慣病の増加など、「食」に関する問題が大きくなっており、乳幼児期から生涯にわたる食に関する教育が求められている。							
目的	市民が「食」に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することにより、健康で豊かな生活を送ることができるようにする。							
施策展開の	①食育推進計画を策定する。 ②栄養教諭により学校現場で食育活動を行う。 ③保健師・栄養士等による、市民を対象とした料理教室、指導等を実施する。							
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	朝食をとるこどもの割合		%	目標	↑	↑	↑	
説明	全国学力学習状況調査において、「朝食を摂る」と回答したこどもの割合(毎年、小学6年生、中学3年生の一部が調査対象)			実績	92.1	92.5		
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	食に関する年間指導計画作成学校数		校	目標	19	19	19	
	説明	教育の現場において「食に関する指導」を行うために作成する計画を作る小中学校の合計数			実績	19	19	
	食に関する指導		回	目標	60	70	90	
	説明	栄養教諭が学校教育の現場において、1年間に開催する食に関する指導回数(延べ)			実績	58	53	
	食育に関する普及啓発事業の実施回数		回	目標	70	70	80	
	説明	各種健診、出前講座、市民講座による食に関する指導、市立保育所で実施する指導の合計回数			実績	128	139	
				目標	-	-	-	
説明				実績				
事業費の実績		単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	357,020	390,832	328,286		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	174,018	182,319	184,585		
	一般財源		千円	183,002	208,513	143,701		
	この事業にかかる職員数		人/年	7.95	8.10	8.90		
人件費(B)		千円	53,988	56,327	61,891			
計(A+B)		千円	411,008	447,159	390,177			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 平成24年度中に「稚内市食育推進計画」を策定することとなった。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 学校現場や食育に関する普及啓発活動により、成果指標において多少の向上が見られた。 本年、「食育プロジェクトチーム」を組織し、平成24年度に「稚内市食育推進計画」を策定する。 食育推進会議(外部委員を含む)の設置を予定している。また、庁内検討委員会の設置も検討。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--